



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

# 共に歩まん

令和5年6月29日発行

第11号

中信教育事務所

ご意見はこちら→ ←過去の「共に歩まん」はこちら

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のためのポイント④ 特別の教科 道徳編  
道徳的な問題を「自分事」として捉え、「納得解」を生み出す学び

つな  
げる

## ○「特別の教科 道徳」(以下、「道徳科」)の 「個別最適な学び」と「協働的な学び」のイメージ

道徳的諸価値についての理解を基に、①自己を見つめ、②物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、③自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 小学校・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編(番号・下線は筆者)

### 学びのイメージ

道徳的諸価値についての理解を前提とした上で

- ①「自己を見つめ」る活動では、自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら考えを深める。
- ②「多面的・多角的」に考える場面では、多様な感じ方や考え方に接することで、よりよい価値観を見つける。
- ③「自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習」では、道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止める。

### Point 1 「自分事」としての追究(指導の個別化に関わって)

例えば、個人追究の後に、「〇〇さんのところに、考えを聞きに行ってください」と促し、交流や対話を仕組むことで、子供たち自身の体験から感じたり考えたりしたことを基に、必要感のある対話をつなぐことができます。



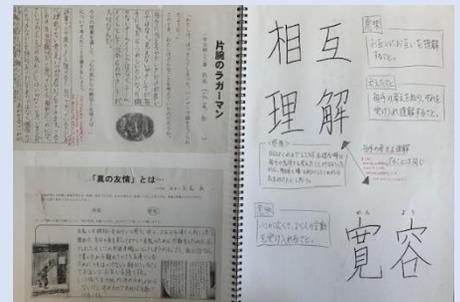
### Point 2 「多面的・多角的」な思考(協働的な学びに関わって)

例えば、ICTを活用して多様な感じ方や考え方を共有する場面を設けることで、実際に行うことの難しさや、弱さを克服することの大切さを語り合いながら、自らの価値観を見つめ、見直すことができます。



### Point 3 「納得解」を生み出す学び(学習の個性化に関わって)

例えば、道徳的価値に対する思いや考えをまとめる場面で、子供の学習の過程や成果などの記録を蓄積したファイルやノートを見返す場を計画的に設けることで、他者との比較ではなく、これまでの自分の生き方を振り返ったり、これからの自分の生き方について考えたりできます。



ICTを活用することで可能となる多様な意見の共有機能を活用した議論、協働学習支援ツールによるグループワーク、子供のまとめや振り返りのよさを認め促す評価、子供自身による自己評価などを生かして、道徳科ならではの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていきたいね。これからも、道徳科の授業を通して、子供たちの個性ある生き方がより豊かになるよう、支えていこう!

